5年	科目	生産システム	講義	後期	担当	永禮哲生 NAGARE Tetsuo
機械工学科		Production System	選択	1履修単位		
授業の概要						
現代社会において、工業製品の設計から製造に至る一連の流れはIT技術の発達に伴い高度化している。さらに多様な顧客のニーズに応えるため、多品種少量生にも対応できるフレキシブルな生産システムへの要求が高まってきている。また、製品の品質に対する要求も高まっており、国際的に競争力を持つためにも国際規格に乗っ取った生産管理が重要となっている。本講義では、多様化する生産システムの概要を理解すると共に、基本的な品質マネジメントについて学習する。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
	○	3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)	実践指針 (プログラム対象科目のみ)		実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ)			
授業目標						
<ol style="list-style-type: none"> 1.基本的な生産様式について内容を理解しその様式を説明できる。 2.品質マネジメントシステム成立の経緯および国際規格について説明できる。 3.品質管理の代表的な手法について説明できる。 4.IT技術による設計・生産に関わる支援技術について説明できる。 5.工業製品の財務管理について説明できる。 						
授業計画						
第1回	ガイダンス	シラバス配布 講義内容の説明				
第2回	設計と製造	製品開発から製造に至るフロー 設計支援技術 製造支援技術				
第3回	生産様式	生産様式の分類1				
第4回	生産様式	生産様式の分類2				
第5回	製造物の評価	機械製造における測定				
第6回	財務管理1	工場の財務管理の概略				
第7回	財務管理2	原価計算のケーススタディ				
第8回	中間試験					
第9回	品質管理1	中間試験の返却と解説・品質マネジメントシステムの歴史的経緯と国際規格				
第10回	品質管理2	品質管理の手法1				
第11回	品質管理3	品質管理の手法2				
第12回	品質管理4	品質管理の手法3				
第13回	品質管理5	統計的品質管理1				
第14回	品質管理6	統計的品質管理2				
	前期末試験					
第15回	まとめ	試験の返却・成績評価の説明・授業アンケート				
第16回						
第17回						
第18回						
第19回						
第20回						
第21回						
第22回						
第23回						
第24回						
第25回						
第26回						
第27回						
第28回						
第29回						
	後期末試験					
第30回						
評価方法 と基準	2回の定期試験の平均で評価する。60点以上を合格とする					
教科書等	配付資料					
備考	<ol style="list-style-type: none"> 1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。 					